

台木の違いによる 県オリジナルモモ品種「はつひめ」(5年生)の生育

福島県農業総合センター果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹－モモ－品種

2 担当者名

高橋堯之、佐久間宣昭、山口奈々子、額田光彦、尾形亜希子、吉田小夏

3 要旨

県オリジナルモモ品種「はつひめ」の安定生産を目的に、2種類の台木を用いて若木の生育特性を調査した。「おはつもも」は樹冠の拡大が早いがせん定枝量が多く、「ひだ国府紅しだれ」は樹冠の拡大が緩やかでせん定枝量が少ない傾向が認められる。また、収量に有意差はないが、「ひだ国府紅しだれ」は「おはつもも」と比較して果実重が大きい。

- (1) 「ひだ国府紅しだれ」は、「おはつもも」に比べ幹周、樹高、樹幅が小さく(表1)、せん定枝量も「おはつもも」の約40%と少ない(図1)。
- (2) 定植4～5年目の収量に有意差はなく、「おはつもも」と比較し「ひだ国府紅しだれ」は果実重が大きい(図2)。
- (3) 「おはつもも」は樹冠拡大が早く、「ひだ国府紅しだれ」は樹冠拡大が緩やかであることから、地力等ほ場条件に応じた台木を選択する。

表1 樹体生育

台木	幹周 (cm)	樹高 (cm)	樹幅 (cm)		樹冠占有 面積(m ²)
			主枝方向	直角方向	
ひだ国府紅しだれ	31.3	358.9	528.3	363.3	15.0
おはつもも	41.7	432.3	650.0	493.3	25.2

※幹周は接ぎ木部から20cm上部を測定

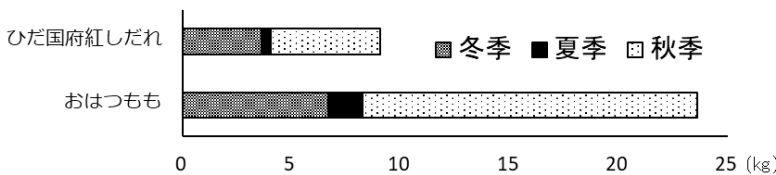


図1 過去3か年のせん定枝量

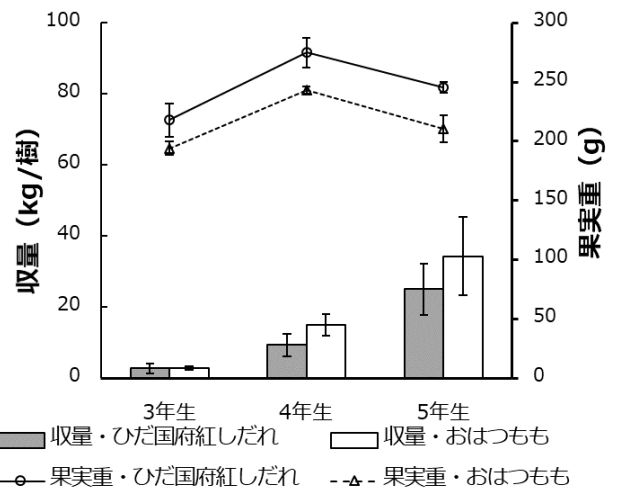


図2 樹形別の収量と果実重の推移

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和2～令和4年度
- (2) 研究課題名 県オリジナル品種の安定生産・流通技術の確立

5 主な参考文献・資料

モモ樹の台木による生育の違い (安達ら,2017 実用化技術情報)